

社会実装加速化WGの 主な検討項目・論点

令和6年11月26日
事務局

1 検討の目的

「第6期科学技術・イノベーション基本計画」や国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）の次期中長期目標等を見据え、近年の社会情勢の変化、技術の進展及び市場の動向等を踏まえつつ、ICT分野で国、NICT等が取り組むべき重点研究開発分野・課題及び研究開発、成果展開等の推進方策について検討を行う。

	令和3～7年度	令和8～12年度
政府全体	第6期科学技術・イノベーション基本計画	第7期科学技術・イノベーション基本計画
総務省・NICT	第5期中長期目標・計画	第6期中長期目標・計画

2 主な検討項目・論点

(1) 我が国が戦略的に推進すべき研究開発分野とNICTが重点的に研究開発等に取り組むべき技術領域

- 2030年代を見据えた未来の社会像とその実現のためのキーテクノロジー
- 諸外国との競争において我が国が強みを有する技術領域
- 我が国として戦略的に推進すべき研究開発分野
- 国・国研・大学・民間等の役割分担の下、NICTが重点的に取り組むべき技術領域 等

(2) NICTの社会実装機能・外部連携機能等

- NICTにおける研究開発成果の社会実装機能の在り方
- NICTの研究資金配分機関としての在り方
- NICTにおける新技術に対応した研究人材の育成・確保の在り方
- 我が国発の技術の社会実装を促進するためにNICTが果たすべき役割 等

3 検討スケジュール

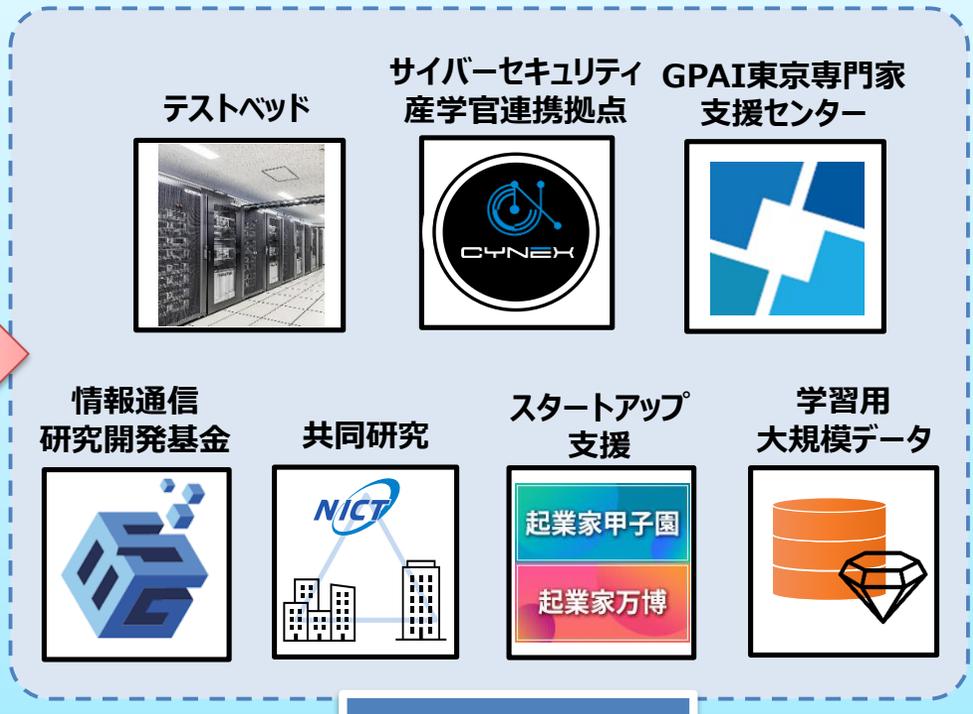
技術戦略委員会において検討を行い、令和7年5月頃を目途に報告案を提示。同年6月頃を目途に中間答申を希望。



産学官連携の中核としての役割に対する期待の高まり



主な社会実装機能



主な外部連携機能



民間企業・大学等

検討の背景（1/2）

① NICTにおける研究開発成果の社会実装機能の在り方

- 「統合イノベーション戦略2024」（令和6年6月4日閣議決定）では、科学技術・イノベーションは、我が国の経済成長における原動力であるとともに、社会課題の解決や災害への対応等においてもその重要性が一層増しており、我が国が直面する様々な社会課題の解決のため、**テクノロジーの社会実装を加速**していくことの必要性が述べられている。
- NICTにおいても、**研究開発成果の社会実装をさらに推進**すべく、技術シーズを適時適切に製品化等に結びつけていくため、**機構内のガバナンスの見直し**と併せ、**社会実装機能の強化**を図る必要がある。

② NICTの研究資金配分機関としての在り方

- 令和5年度に、Beyond 5Gをはじめとする革新的な情報通信技術の研究開発を推進するため、**NICTに恒久的な基金（情報通信研究開発基金）が造成**され、NICTが研究資金配分機関、いわゆる「**ファンディング・エージェンシー**」としての機能を有することになった。
- NICTが研究資金配分機関として活動していくに当たって、**プログラムの目的達成に向けたより効果的な資金配分**の在り方について検討する。

③ NICTにおける新技術に対応した研究人材の育成・確保の在り方

- 変化の速いICT分野においては、AIやサイバーセキュリティ等の急速な進化・普及を見せる新技術に対応することが必要であり、このような新技術にも対応できる**多様な研究人材の確保**と、知的財産の管理や起業支援など研究成果の活用や社会実装を支援できる**研究マネジメント人材の充実**が課題となる。
- このような課題に対応するため、優れた人材の確保・育成方策と併せて、**外部専門人材の活用方策**についても検討する。

④ 我が国発の技術の社会実装を促進するためにNICTが果たすべき役割

- 第5期中長期では、恒久的な基金の造成や、サイバーセキュリティに関する産学官連携拠点としてサイバーセキュリティネクサス（CYNEX）が設置されるなど、**我が国発の技術の社会実装を促進**するために、**産学官連携の中核としてNICTが担う役割**が増加した。
- 変化の速いICT分野においては特にオープンイノベーションが重要となることから、NICTが「**イノベーション・ハブ**」を担うことで、我が国発の技術の社会実装をさらに加速させるための方策を検討する。